



Biz Com

[ビズコム : Vol.40]

<http://www.rikkyo.ac.jp/sindaigakuin/bizsite/bizcom/index.html>


Contents

Business Now!

株式会社ノンストレス 代表取締役社長 坂野 尚子 氏	1-2
株式会社ケアネット 代表取締役社長 大野 元泰 氏	6-7
新任教授紹介 平川 克美 先生 平 浩一郎 先生	3
10期生アンケート・新任講師紹介 佐藤 猛 先生	4-5
公認研究会説明会・非公式履修相談会&懇親会・書籍紹介	7-8

Business Now!

株式会社ノンストレス

Banno

Naoko

代表取締役社長

坂野 尚子 氏

◆Profile

坂野 尚子 (ばんの なおこ)

80年に国際基督教大学を卒業後、フジテレビアナウンサー。

89年にNYのコロンビア大学のビジネススクール(経営学修士課程)MBA修得。

外資系コンサルティング会社KPMGビートマーウイックコンサルティング勤務後、93年に株式会社キャリア戦略研究所(CS INC.)を設立。

美容の分野に着目し、96年1月新会社「ザ・クイック」(05年1月より「ノンストレス」に社名変更)を設立。「ネイルクイック」とその姉妹店の「ネイルパフェ」、グリーン豊かな空間でバリの人気オイルトリートメントとネイルサービスが楽しめる「SPANAIL」、30分手ぶらフィットネスの「クイックシェイプ」を経営。

WEO初代会長、WEO国際理事、省庁の委員を歴任。公共団体、企業、大学院、大学、APEC WES、OECD等講演多数。



「転んでもただでは起きない」、「成せばなる」を信条とし、達成感のある人生を送りたい!

経営には想定外はつきもの。

何が起きても鷹揚に構えられる度胸とストレスに打ち勝つ心が必要!

経営者として妻として母として
人の3倍以上こなしていらっしゃいます。

そのパワー溢れる原動力は
どこから来るのでしょうか?

20代は、好きなことを仕事にしていましたし、30代は修行の時期、40代で経営して、50代は社会貢献したいな

と思っていましたけれども、株式公開も出来ていないので、60代ぐらいまでは頑張っていこうかなと思ってます。男性の経営者は、とにかく早く会社を大きくするという考えを持っていらっしゃる方が多いと思いますが、私は、色々な事をやりたいが為に逆にゆっくりと一步一步を積み重ねて行くことで良い会社を作り上げて行くことができていると思っていて、それを実行しているだけです。つまり、原動力というのは「転んでもただでは起きない」あるいは

「成せばなる」を信条として、やりたいことをやって達成感のある人生を送りたいという強い思いです。

次の世代にバトンタッチする経営者候補育成が、経営者にとって一番大切と考えておられますが、経営者にとって必要な要素とはどの様にお考えでしょうか？

やはり一番大切なのは「ストレス耐性を持っているか否か」だと思っています。「想定外」という言葉が最近良く使われますが、経営には想定外がつきものですし、その中で一喜一憂してはいただけません。何が起きても鷹揚に構えられる、そういう度胸で様々なストレスに耐え得る心が必要です。ストレスというのは消すことは出来ないで、どう発散出来るかとか、どう打ち勝つことが出来るかが一番重要だと思います。

2番目は、「自分自身が常に成長する向上心を持っていること」です。経営者は会社の規模によって成長していくし、人の成長が束になって企業が成長すると考えています。大企業の中で出世して社長になる人と、ベンチャーの創業者で社長になる人というのは、その成長が大きく異なると思います。大企業の社長というのは常に成長しているからこそ社長になれると思います。しかし、従業員が50人や100人規模のベンチャー企業で、ある時、権限委譲を意図的にしなければならぬ段階もあると思います。始めのうちは自分が火の中、水の中に飛び込んでゆく覚悟が必要で、いろんな段階を経て自分自身が常に向上心を持っていることが大事だと思います。

3番目は、「経営者候補の育成」です。後継者は創業者ではないですから、経営者としての苦労があると思います。やはり、次の世代を預かる人は前の人を否定する訳ではないですが、培ってきた物を壊す勇気が必要だと思います。そういった独創性やクリエイティビティは重要だと思います。ほかに、情熱とクールさを両方持っている人も良いと思います。

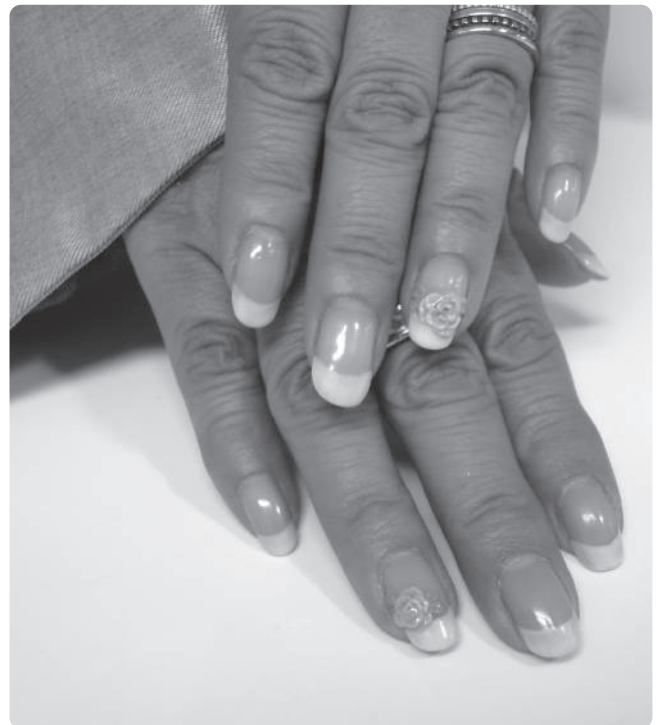
経営者候補というのは、社長が育成されますか？それとも資質を持っている方を発掘されますか？

両方でしょうね。というのはまだ答えが出ている訳ではなくて、株式公開がその答えの1つになると思いますね。株式公開によって外部から優秀な人材が入ってくることになりますので、結論を出すにはまだ早いと思います。いずれにしても自分で育てるまたは、外部からの登用の両方を考えないといけないと思っています。

やはりMBAを取られて良かったのでしょうか？

私は良かったと思っています。もちろんファイナンスとマーケティングを専門に学んだので、ビジネスプランを書く時や様々な事を考える時にベーシックなところで

参考にはなっています。そういった事よりも、やり遂げたということと、人的ネットワークもとても活かされています。あとは、自分の人生の分岐点になったということも大きいですね。



坂野社長のお手元を拝見! とても素敵なネイルアートです。

立教MBAで学ぶ学生へ
メッセージをお願いします。

昔と違ってビジネススクールに行く方は増えていますよね。ビジネススクールで何をという時代から、自分で創業するまたは、組織の中でリーダーになるためには、ビジネススクールが必須条件になっていると思います。私は、有機的に物事を考えるとか論理的に物事を考える必要性であるとか、知識よりも考え方のフレームワークを学んだことが大きな資産と思っています。皆さんも今後の人生でダイナミックな生き方をする際に、いろんな視点や分岐点で迷われる事があると思います。でも、そういった時の考え方はビジネススクールで必ず教えてくれます。何らかの答えのヒントを今後の学生生活の中で学べていけると良いと思います。

社長ご自身、ストレス解消で何かしていらっしゃいますか？

マッサージか凄く好きなので、そういった事です。最近、子供が大学に入り、ようやく手が離れたのもあって、鍼とかオイルマッサージとか、いろんな事をやっています。そういった時間が作れることが、今はうれしいですね。

(インタビュー・撮影：桐畑、山口、戸塚、塚田、元田)